



青春出版社

著者紹介

作家。昭和26年『冥府山水図』によって文壇に登場し、そのみずみずしい才筆は高く評価された。中国などの歴史を背景にしたものから社会生活、家庭生活を風刺する現実的なものまで作風は広範囲におよぶが、また洗練されたエッセーを縦横に駆使した文体は、エッセーに生かされ、多くのベストセラーを生んだ。

大正15年東京生まれ。東大言語学科卒。日大芸術学部教授を経て現在に至る。主な著作は『愛からの出発』『一度だけを生きる愛』『もし好きになったら』（以上当社刊）『箱庭』『教えの庭』など多数。近作には『正四面体』など。

検印を廃す

発行所 株式会社 青春出版社

東京都新宿区若松町73番地
振替番号 東京九八六〇二番
TEL (203) 五一三一〇五

★この本をお読みになったご意見ご感想を編集部までお寄せ頂ければ幸いです。

女性はいくらでもいらない——その必然に関わる32の公開——

昭和四十七年四月十五日 第一刷
昭和四十七年五月十五日 第三十七刷

著者 三浦 朱門
発行者 小沢 和一

印刷・堀内印刷 製本・石毛製本

0000-205100-3822

© PUBLISHING SEISHUN Co., Ltd. 1972

青春出版社

三浦朱門

女性はたぐられない

その必然に関わる32の公開



はじめに

人にはいろいろなタイプがあるとされます。欲ばりな人、そっかしい人、やさしい人、のんきな人。しかし私はそういう分け方を一応は便利なので使いはしますが、あまり信用していません。人間はみな同じ、とは言えないので、タイプによって分けるのもあながち悪いとは思いますが、実は人間は大同小異なのだ、と言えばそれまでです。また違うと言えば百人百通りでして、十や二十のタイプにはとても収まらないくらい、一人一人は違うのだと言うこともできましょう。

つまり、欲ばりな人、そっかしい人、がいるのではなくて、すべての人が欲ばりで、そっかしくて、やさしくて、のんきなのです。あなたは妹さんと一つのアクセサリを取りっこする時は欲ばりです。そして仕事をする時はそっかしい屋で、恋人に対してはやさしく、将来のことについてはのんきであるかもしれません。いや、同じ妹さんに対しても、ある時は欲ばりで、またやさしくなるのが人間です。

私はこの本の中で、いろいろなタイプの女性について書いているように見えるかもしれませんが、そのさまざまなタイプと見えるものが、実は一人の娘の中にひそんでいる可能性の一部であるかもしれません。私は今は平和で常識的な人間ですが、戦時中の軍隊にいれば人も殺したでしょう。悪

い生活状態になれば、盗みもします。私にはありとあらゆる善行をする可能性もあるかわり、恐ろしい罪を犯す可能性も残っています。

結婚や恋愛というのは、そういうさまざまな可能性を持つ人間と人間が、性を直接的動機として全人的結合を行なおうとするものです。考えようによっては恐ろしいのですが、また、人間がほかの人間と全的に結びつくことによって、新しい生命を作り出せるということは、やはりすばらしいことだと思います。

問題は一人の娘が一人の青年と結びつくことによって、二人の持つ可能性のうち、どのような面があらわれてくるかという点でしょう。そのためには、相手と自分についての正しい分析と知識が必要ですが、それでもなお、結局はわからないのです。二人のために世界はある、というのは歌の言葉だけで、二人は世界の中では、激流にうかんだ二枚の木の葉のようなもので、たまたま重なって流れることになったとしても、いつまた、別れ別れになってしまいか知れたものではありません。その恐れと不安があるからこそ、それに打ち勝とうとする人間の営みはすばらしく、人生は生きるに価するのだと言いうるのです。

目

次

はじめに……………3

1 人を考える時の参考意見 15

モヤモヤを感じる男ごろ 15

すべての男が意識する二つの関心 17

男の中に映る二つの目 20

2 自分の物にしたいという男 23

女性を感じている欲求 23

声をかけてくる男への心理 25

自分で「この人なら」と思う人 27

3 未練がましい男の方法 30

冷たい仕打ちで注ぐ目の女性 30

安心感をあたえる男の中の気持 32

男はなぜ、そのような事をするか 33

4 その底にうごめく目的意識 36

男と女の心の打ち明けた 36

女性は、好きな人の前にしおらしくなる 39

「好き」と言われて起こる反応 41

5 カワイコちゃんを感じる女性像 44

怒る気になれない可愛らしい男 44

女性を盗もうとする男 46

男と女の間を感じかた 49

6 見知らぬ人間は敵か 52

小児的体型の日本女性 52

何を感じているかわからない女性 54

女性の中にひそんでいる心理 55

7 似合う、似合わないの感じ方 58

きれいに見えるのはなぜか 58

おかしい調和 60

変えるほどモトにかえる 63

8 鏡の中の自分と視線が合うとき 65

鏡に凝視するすさまじい集中力 65

すぐ見破られる近視の女性 67

なぐられて腹^{はら}れ上ったような女性の目 69

9 動く個所は目につく 73

嫁をとるなら、でっかい嫁もらえ 73

女性のもっとも目立つ個所 76

女は自己愛が強い存在 78

10 男が狼なら、女は猿 81

異性とは思わない二人の関係 81

狼じゃないと思いたがる女性 83

鼻のもげそうな臭いをこまかすために 86

11 女性が発見をせまられてる 89

これじゃ怠けものになる 89

屋台ですぐ間に合ったオカズ 91

嘘ではない「この際カアちゃんと別れよう」 93

12 何んでもいいから、やってちょうだい 97

政治家も、学者も、団地のママも 97

全部おまかせする女性 99

16	自分が満たされないのは何んであるか	123
	人間の底から現われる欲求不満	125 123
	女性の中にあつた開かずの密室	125 123
	カッコだけの見かけばかり	117
	大さわざする女房たち	119
	イカスからカッコヨサになるまで	121
14	知ること、それがどれほどのことか	110
	二十年まえの女の子の二つのタイプ	110
	知っておくべきことの必要性	112
	心に教育のかげりを持つ時	114
15	マグロのような娘たち	117
13	どんな自分に中心をおくか	103
	女性は大勢の人に弱い	101
	ハツとさせる危ない女性	103
	つい忘れてしまふ、その存在	105
	あの退屈にもどつてしまわないために	107

人に知られたくない女の自意識 127

17 女性は能力以上を管理しようとする 131

どっちがだらしがないか 131

人の能力はどこで増減するか 133

女性の最大公約数的性格 135

18 可愛がられることを知ってからの女 137

女性的な男はなぜ人気があるか 137

荒々しい男に目覚めた女 139

キリヨウの悪い男ほど髪をのばす 142

19 結婚の条件、人柄とは何んでしよう 145

相手を見る母親と娘の大きな差 145

一流社員と三流社員と 147

固定した好き嫌いは誤りのもと 149

20 男は、モウケモノという気分になる 151

新郎にささげる立場の新婦 151

新車一台買ってウキウキする気持 153

	娘を買いとったような顔していよ	154
21	確率だけでは信用できない	157
	結婚相手の条件が違う東京と関西	157
	走ってみなければわからない、すべて	
	ヒョツとすると勝てる穴馬のスリルか	161 159
22	女性が無防備になる心理状態	163
	なぜ男は商売女にからむか	163
	どういう男なら、生き甲斐があるのか	165
	ガツチリした女性が頼りないことをする	168
23	何が妻を幸福にするのか	171
	女性の手紙にソワソワする夫の浮気心	171
	その人の中に愛が燃えあがる条件	173
	恋人のように愛しあっている夫婦	176
24	女の子は、フンとした顔をしたい	179
	過去をもたないままの結婚	179
	女の子の半分が、足が入らないブーツ	181

世の中は変らなくとも人の心は変わる 184

25 娘が不安に胸が震える一瞬 187

女性は何歳が適當年と思っているか 187
娘が自己批判するとき 189

マサカ、と驚く昔の適齢期 191

26 恋愛は、計算を踏みはずした関係 195

同棲という問題を聞きたがるお嬢さん 195
女性には必ずついて回る「もし……」 197

何が本当なのか 199

27 女のケンカと女の戦い 202

どんな時、女は泣きだすか 202

女どうしのケンカ 205

愛らしい娘が恐ろしい人妻になるとき 207

28 娘よオレをあなどるな 210

夢に共鳴したP君とA子 210

娘は母親の痛烈な批判者 212

29	夫が震えあがるカアちゃんの態度	218
	みじめに見えた母親に似てくる娘	215
30	ノラ猫のように気が強い娘の変る時	226
	抜群の体力と弁舌をもっているカアちゃん	218
	夫が罪の意識に責められるとき	221
	奥さんは突然変異をおこす	223
	ホツとさせる女ごころ	226
	結婚前の娘はノラ猫のように気が強い	228
	愛に目覚めた娘はやさしくなる	230
31	女は男に負けても長期的には勝つ	234
	女性は耐える力にすぐれている	234
	あとのたたりが恐ろしい夫婦ゲンカ	236
	男は平和に弱くもろい	239
32	女に好かれる訳はない私の呟き	242
	最後に一言だけ	242
	あなたの値打ちを見通してくれる人は	244

本文カット・山中冬児

1 人を考える時の参考意見

モヤモヤを感じる男^{こころ}

さて、これから、私はあなた方についての文章を書いてゆくことになるのですが、それは一体どういう性質のもので、何の役に立つのでしょうか。

役に立つかどうか、その点になると大変に心許ないのですが、かりに役立つとしても、それには私の立場を知っていただきたい。そのモノを理解してはじめて用途もわかります。つまり自動車は陸上を走るのには使えますが、水の上ではだめです。それは自動車の構造を調べればすぐわかることです。それに対して、

「本体は、防水構造を持ち、スクリューとエンジンを……」

といった説明を聞けば、

